

鬼のまちが目指す未来

3月8日に開催された鬼北町議会第1回定例会において、「平成31年度施政方針」が発表されました。

まちの未来像や今後の取り組み等について、主なものをお知らせします。



鬼北を支える5つの重要施策

交通弱者対策の推進、移動手段の確保

交通弱者を対象とした実態調査を行い、交通弱者対策を推進します。また、運転免許証返納者に対しても実態に合った移動手段の確保に努めます。



鳥獣害の被害対策強化

電気柵等設置補助支援の補助対象要件の緩和を継続します。また、鳥獣処分およびジビエ利用等に係るシステム構築に取り組みます。



保育料の負担軽減

10月1日から国の施策による「幼児教育無償化」の実施とともに、引き続き子育て世代の負担軽減について取り組んでいきます。



北宇和病院の存続維持

将来を見据えた町内医療体制の再構築を推進します。また、旭川荘との連携を密にし、地域医療の中核として、医療サービスの充実に努めます。



鬼のまちづくりをソフト事業へ

地域コミュニティを活用したまちづくりを推進します。今年度も鬼のまちづくりプロジェクト支援事業に積極的に取り組んでいきます。



目まぐるしく変わる社会情勢の中で、時代の流れを捉えて成熟社会の転換に必要なサービスを維持・向上させるために必要な施策の見極めが重要です。そして、町民の皆さんと行政が連携を図り、「オール鬼北」で効率よく行政を進め、魅力のあるまちづくりに取り組んでいくことが重要と考えています。

先人たちの知恵と努力を守り育てるとともに、50年後、100年後にも孫やひ孫の世代が鬼北を愛し、幸せに暮らしていけるよう、福祉の充実、教育の向上、地域経済の向上に向けて取り組み、「ふるさと鬼北」を作り上げていくことを目指します。

未知なる課題も山積みではありますが、就任時に掲げた政策を重点的に進め、さまざまな課題に向き合っていきます。

鬼北町長
ひょうどう せい き
兵頭 誠亀

KIHO-KU TOWN

